

令和 7 年度

「運営に関する計画」



いまみや小中一貫校

大阪市立今宮学校・大阪市立新今宮小学校

令和 7 年 4 月

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成27年4月に3小学校と1中学校の統合を行い、大阪市内で三番目の施設一体型小中一貫校として開校し11年目を迎える。開校当初の様々な課題を教職員が協力して解決しながら小中一貫教育を推進してきた。今後もその特長を継続・発展させていくためのさらなる工夫が必要である。

本校は、西成区北東部にあり、社会的な課題に直面している地域にある。経済状況の悪化や家庭背景により、生活が厳しい子ども達も多いが、その中であって、子ども達は逞しく生きている。家庭においては、「生活していくこと」を重視せざるを得ず、学習を最優先にする家庭が多いと言える状況にはない。それらの理由などにより、基本的な生活習慣が身につけていない子どもや様々な社会経験・体験が乏しい子どもが多い。また、校区外からの転入する児童生徒や外国籍の児童生徒の転入も多く、保護者と連絡が取りにくい家庭や通訳者を必要とする家庭との連携にも課題を抱えている。

施設一体型小中一貫校としての特長を最大限発揮できる状況を創り、子ども達に生きること、学ぶこと、体験することを十分に保障することが本校の当面の課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○毎年度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、毎年、前年度よりも減少させる。
(令和3年度 5.3% 令和4年度 7.5%)

○令和7年度の児童生徒アンケート「自分にはよいところはあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、令和4年度よりそれぞれ5%増加させる。
(令和4年度 小学校 87% 中学校 77%)

○毎年度の児童生徒アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、前年度より増加させる。(令和4年度の自校アンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果：小学校6年 73%、中学校3年 70%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査における、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目について、「全くしない」と答える児童・生徒の割合を小中学校とも10%以下にする
(令和4年度 小学校 22% 中学校 19%)

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、半数の項目で全国平均を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の児童生徒アンケート「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える割合を小学校 75%、中学校 75%以上とする。

(令和4年度 小学校 56% 中学校 57%)

○令和7年度において、ゆとりの日については週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては3日以上設定する。

(令和4年度 ゆとりの日週1回 学校閉庁日夏季3日 夏季以外1日)

○令和7年度の児童生徒アンケートで「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童生徒の割合を小学校 80%、中学校 60%以上とする。

(令和4年度 小学校 82% 中学校 54%)

○令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合 95%以上とする。

(令和4年度 91%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、前年度よりも減少させる。
（令和6年度 6.0%）
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を小学校93%、中学校94%以上にする。
（令和6年度 小学校92.1% 中学校93.2%）
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校82%、中学校84%以上とする。
（令和6年度 小学校81.6% 中学校83.3%）
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学生83%、中学生78%以上とする。
（令和6年度のアンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果は令和6年度小学校6年生が82.1%、中学校3年生が77.1%）
- 小中合同行事を年間15回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和7年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校86%、中学校88%以上とする。
（令和6年度 小学校85.7% 中学校87.7%）

また、相互授業参観や研修など小中学校教職員の交流も活発化させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校90%、中学校93%以上にする。
（令和6年度 小学校89.8% 中学校92.4%）
- 小学校学力経年調査・中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
（令和6年度
国語 小学校4年生 0.86 小学校5年生 0.86 小学校6年生 0.76
算数 小学校4年生 0.96 小学校5年生 0.89 小学校6年生 0.88
国語 中学校1年生 0.86 中学校2年生 0.88
数学 中学校1年生 1.02 中学校2年生 1.01 ）
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童・生徒の割合を小学校75%、中学校59%以上にする。（令和6年度 小学校74.0% 中学校58.84%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上とする。（令和6年度 小学校0.6%中学校2.3% ※委員会が3月に出す資料より）
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（時間外勤務が1か月45時間を超えない）を満たす教職員の割合を小学校80%、中学校44%以上とする。（令和6年度 小学校79.2%、中学校43.3%）
- 令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上とする。（令和6年度 94.4%）

3 本年度の自己評価結果の総括

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和7度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、前年度よりも減少させる。 （令和6年度 6.0%）</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を小学校93%、中学校94%以上にする。 （令和6年度 小学校92.1% 中学校93.2%）</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校82%、中学校84%以上とする。 （令和6年度 小学校81.6% 中学校83.3%）</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学生83%、中学生78%以上とする。 （令和6年度のアンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果は令和6年度小学校6年生が82.1%、中学校3年生が77.1%）</p> <p>○小中合同行事を年間15回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和7年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校86%、中学校88%以上とする。 （令和6年度 小学校85.7% 中学校87.7%）</p> <p>また、相互授業参観や研修など小中学校教職員の交流も活発化させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>長期欠席児童生徒（欠席日数30日以上）について調査を行い、状況を把握し、児童生徒への教育相談など日常の生活状況も踏まえた取組みを実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、全校児童生徒のスクリーニングシートを作成し、個別の状況については、教育支援シート、生活支援シートなどを作成する。 ・定期的また必要に応じて教育相談を実施し、継続して児童生徒の心のケアに努める。 ・校内全体で、年間10回児童生徒の状況についてのスクリーニング会議Ⅰを実施する。 また、必要に応じて関係教職員、スクールカウンセラー、西成区こどもサポートネット関係者によるスクリーニング会議Ⅱを学期に1回は実施する。 ・年間30日以上欠席した児童生徒の人数を前年度よりも減少させる。 ・年間30日以上欠席した児童生徒に対応するための校内体制の構築を図る。 	

<p>取組内容②【1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>小中学校の連携強化を図ることで、児童生徒の安心感の伸長に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同行事を年間 15 回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和 7 年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校 86%、中学校 88%以上とする。 <p>(令和 6 年度 小学校 85.7% 中学校 87.7%)</p>	
<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】</p> <p>人権教育や道徳教育のカリキュラムを作成し、計画的に学習を実施する。また、文化的行事や体験活動を通して自己肯定感の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習や道徳の年間指導計画をもとに、計画的に学習を実施する。 ・令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「命や人権の大切さやルールについて学ぶ機会がある。」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を小学校 94%、中学校 97%以上とする。 <p>(令和 6 年度 小学校 93.5% 中学校 96.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校 82%、中学校 84%以上とする。 <p>(令和 6 年度 小学校 81.6% 中学校 83.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人権課題や近年の新たな人権の状況に応じて、教職員の研修会を年 1 回以上実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校

令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校90%、中学校93%以上にする。</p> <p>(令和6年度 小学校89.8% 中学校92.4%)</p> <p>○小学校学力経年調査・中学校チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>(令和6年度</p> <p>国語 小学校4年生 0.86 小学校5年生 0.86 小学校6年生 0.76</p> <p>算数 小学校4年生 0.96 小学校5年生 0.89 小学校6年生 0.88</p> <p>国語 中学校1年生 0.86 中学校2年生 0.88</p> <p>数学 中学校1年生 1.02 中学校2年生 1.01)</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を答える児童・生徒の割合を小学校75%、中学校59%以上にする。(令和6年度 小学校74.0% 中学校58.8%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末でドリル学習をするなどの取り組みを通して、個々の習熟度やニーズに応じた学力向上に取り組む。 ・グループ学習を活用し、主体的・対話的な授業づくりに努める ・少人数・習熟度別授業を活用し、基礎学力の定着を図る。 ・すべての児童・生徒が視写に取り組み、書く力の向上に努める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校90%、中学校93%以上にする。 (令和6年度 小学校89.8% 中学校92.4%) ・小学校学力経年調査・中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (令和6年度 国語 小学校4年生 0.86 小学校5年生 0.86 小学校6年生 0.76 算数 小学校4年生 0.96 小学校5年生 0.89 小学校6年生 0.88 国語 中学校1年生 0.86 中学校2年生 0.88 数学 中学校1年生 1.02 中学校2年生 1.01) 	

<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度小学校学力経年調査における国語科記述問題の無答率を令和6年度より減少させる。 (令和6年度 小学校3年 15.1% 小学校4年 13.3% 小学校5年生 16.7%) 	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部の活動の活性化やなわとび集会・かけ足集会や体育的行事などでの取り組みを充実させ、運動に親しむ機会を増やす。 ・小学校健康委員会や中学校健康給食委員会を中心に、「健康に気をつけて生活をする」ことの大切さについて、日常的に呼びかける。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の児童生徒アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童・生徒の割合を小学校75%、中学校59%以上にする。 (令和6年度 小学校74.0% 中学校58.8%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上とする。</p> <p>(令和 6 年度 小学校 0.6% 中学校 2.3% ※委員会が 3 月に出す資料より)</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 (時間外勤務が 1 か月 45 時間を超えない) を満たす教職員の割合を小学校 80%、中学校 44%以上とする。</p> <p>(令和 6 年度 小学校 79%、中学校 43%)</p> <p>○令和 7 年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 95%以上とする。</p> <p>(令和 6 年度 94.4%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>毎日の教育活動で電子黒板やタブレット等、ICT を活用し、自分の考えをまとめ、説明できる力を高める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日における学習者用端末の活用状況 (月平均) が令和 6 年度を超えるようにする。 令和 7 年度の児童生徒アンケート「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える割合を小学校 32%、中学校 28% 以上とする。 (令和 6 年度 小学校 31.8% 中学校 27.8%) 年間計画を作成し、教職員対象の ICT や情報モラルの実践研修会を開催する。 	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日や学校閉庁日の設定、校務負担の均等化や仕事の効率化の推進、プレイヤーファーストの徹底等により、教職員の長時間勤務減少に取り組む。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 (時間外勤務が 1 か月 45 時間を超えない) を満たす教職員の割合を小学校 80%、中学校 44%以上とする。 (令和 6 年度 小学校 79.2%、中学校 43.3%) 	

<p>取組内容③【9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの発信、学級だより・学年だより・学校だより等を積極的に発行し、学校からの情報発信に努める。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上とする。 (令和6年度 94.4%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	